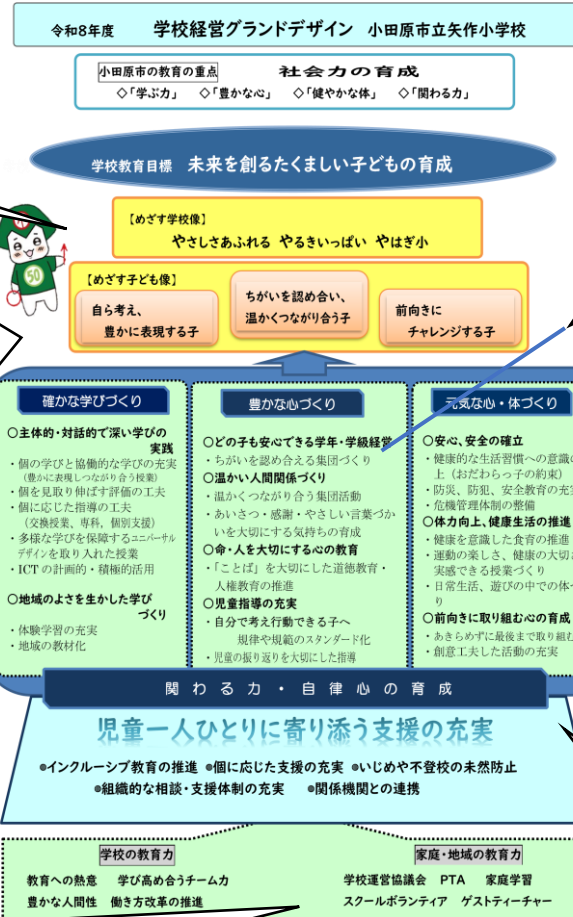


## 令和8年度矢作小学校グランドデザインの説明

①矢作小学校では、小田原市の教育指導重点をふまえ、学校教育目標を『未来を創るたくましい子どもの育成』としました。児童も教師も保護者・地域の方々も「やさしさあふれる やるきいっぱい」の学校づくりをめざします。

小田原市がめざす子ども像は「未来を創るたくましい子ども」です。教育指導の重点に『社会力の育成～子どもたち一人ひとりが充実した人生を送り、より良い地域社会をつくるために～』を掲げています。そして「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」「関わる力」を4つの柱として重視しています。



### ②矢作小学校の「めざす子ども像」です。

学校教育目標を達成するためにめざす子ども像を『自ら考え、豊かに表現する子』『ちがいを認め合い、温かくつながり合う子』『前向きにチャレンジする子』としました。これは今現在の小学校生活でも0年後の社会に出た時にも必要になる力であり、小田原市がめざす『社会力』の育成につながるものです。大人や教師の指示に従うのではなく、まずは「自分で考えてみる」ことが大切です。他人事ではなく自分事として考え、それを表現できるようにする機会を多く取り入れ、児童が安心して表現できる環境づくりをめざします。安心できる場をつくるには「ちがいを認め合い、温かくつながり合う」ことが大事です。いろいろな子がいて当たり前、そのちがいを認め合う心を育てていきたいと思えます。困っている子がいたらどうしたら困らないようになるか考えるなど人と人とが温かくつながり合い、困難を乗り越えたり、一緒に学ぶ喜びを味わったりできるとよいと思えます。そして社会に出て必要なのは、困ったとき、ピンチのときにどう行動するかです。失敗したときに改善し、再挑戦する前向きな気持ちを大切に、様々なことにチャレンジできる子をめざします。

### ③めざす子ども像へ…確かな学びづくり

主体的・対話的で深い学びができるように、自分の考えをしっかりと持ち、友達の考えを聞きながら表現し、よりよいものを楽しんでいく姿をめざします。校内研究では「豊かに表現し、つながり合う授業」をテーマに、個別最適な学びと協働的な学びを充実できるように取り組みます。また、日々の学習の中で児童一人ひとりを適切に見取り、伸ばす評価を実践していきます。

体験学習の充実や地域学習にも重点を置き、「人・もの・こと」との関わる機会を増やすことで、地域のよさや・創造的な学びの楽しさを味わえるようにします。

⑦教職員と保護者、地域が子どもたちの成長のために手を取り合っていくことが大切です。学校運営に参画して下さる学校運営協議会や、PTA 等で信頼関係を築き、連携・協力していきたいです。

保護者・地域の方に信頼される教職員になるために、教職員の人権や規範意識を高め、校内研究・職員研修を中心に授業力や学級経営力、人権感覚の向上に取り組めます。教職員もよりよい矢作小学校を創るために自分たちで考え表現して、前向きにチャレンジします。教職員同士お互いのよさを認め合いながら力を合わせていきます。教職員の心身の安定を図るため、働き方改革も進めていきます。

### ④めざす子ども像へ 豊かな心づくり

どの子どもにも安心できる学年・学級経営をめざします。子どもに寄り添った支援やいじめのないちがいを認め合える関係づくりを行います。なかよし班活動を中心に異学年との交流する機会を多く取り入れ、他者を認め合い温かくつながり合う力を育みます。また、自然とあいさつや感謝の気持ちを伝え、やさしい言葉づかいができるように、日々の生活の中で意識できるように声をかけていきます。道徳教育や人権教育を行い、命や人（自分も）を大切にしている心の教育を推進します。

集団生活を行う際にどう行動したらみんなが気持ちよく生活できるのかを自分で考え行動できる子をめざします。日々の生活の振り返りを大切にする中で、自分や学校生活をよりよくしていこうという気持ちを育てます。

### ⑤めざす子ども像へ…元気な心・体づくり

おだわらっ子の約束にもありますが、「早寝・早起き・朝ごはん」を中心に家庭と協力して望ましい生活習慣づくりを行い、まだまだ続く感染症予防、熱中症予防にも取り組みます。

安全教育（交通・防災・防犯）を計画・実施し、子どもの命の安全を最優先に考えていきます。

運動の楽しさ・健康・食育の大切さを実感できる取り組みを行い、体力向上、健康生活の推進を図ります。

子どもたちが自分たちで創る学校を意識し、創意工夫できる活動を充実させます。学校生活全体で、あきらめず最後まで取り組もうとする気持ちや失敗を恐れずチャレンジする精神を育みます。

⑥すべての教育活動の土台は、【児童一人ひとりに寄り添う支援】です。そのためにインクルーシブ教育の推進や子どもの実態把握に努め、個に応じた支援の充実を図ります。

困ったときにすぐに相談できるように校内の支援体制をしっかりと作り、教職員全員で子どもの困り感に寄り添い、個に応じた支援を行えるようにします。また、関係機関とも連携を図り、支援を充実できるようにしていきます。

すべての教育活動において「人・もの・こと」と関わる機会を多くとり入れ「関わる力」「自律心」の育成をめざします。